

インテリア  
講座

# 命を守る整理・収納術 を開催しました！（報告）

2018年12月5日（水）13：30～15：00に、「インテリア講座 命を守る整理・収納術」を開催し、28名の方にご参加いただきました！

ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました！

講座では、インテリアコーディネーターの小林雅子さんを講師にお迎えし、整理・収納のコツや、防災からみた収納術について教えました。



必要なものとそうでないものは、自分自身でその基準を定め、基準を曖昧にしないことが大切！

実は、家の中の6割は、所有しているだけで活かされていないもの・廃棄を待っているもの。そういったものにスペースをとられているのはもったいない！



先生の自身の経験をもとにした整理・収納のコツを聞き、年末の大掃除に備えてしっかりとメモをとっている方が多く、みなさんの興味・関心の高さがうかがえました。

また、防災からみた収納についてのお話では、「食器棚や冷蔵庫の上に置きっぱなしになっているものや、階段に積んであるもの。もし、地震が起こった時にそれらが落下してきてケガをしたり、逃げ道をふさいで逃げ遅れたら・・・。【大切なのはモノの命ではなく、人の命】

災害を防ぐことはできませんが、日ごろから整理・収納を心がけることで災害の被害を減らす（減災）ことはできます。整理・収納には気合が必要ですが、自分や家族の笑顔のために頑張ってもらいたい」との先生からの呼びかけに、みなさん真剣にうなずいていました。

今回の講座が、年末の大掃除や、災害への備えに役立てば幸いです。

【講座に参加された方の声】  
アンケートより、一部をご紹介します。（原文ママ記載）

「防災や整理・収納、インテリアに関する本」の展示コーナー  
たくさん借りていただきました♪

- プロの方も整理収納になやんだ時期がある、というのは心が軽くなる。自分にも出来るのでは、とやる気になった。（女性・40歳代）
- 「物を減らす＝減災」になるという話の中身が良かったです。講師の方の経験に基づいた話（写真つき）が参考になりました。（女性・40歳代）
- 帰宅したら気付いたことからすぐに実践します。ありがとうございました。（女性・50歳代）
- とりかかるとは気合が要りますが、命を守るため、こころすっきりさせます。（女性・60歳代）
- 収納に関しての正しい考え方が学べた。そしてそれをどのように実践して行ったらいいのか具体的に教えてもらったので年末の大掃除時に我が家でも実行しようと思いました。（女性・50歳代）



【主催】 鈴鹿市立図書館、公益社団法人インテリア産業協会

【共催】 三重県立図書館

【協力】 インテリアコーディネータークラブ三重